

# 酒田まんきツアー

～酒田っ子になろう！～  
(詳細版)

酒田南高等学校観光・地域創生専攻  
安食咲良 / 小倉果朋 / 阿部聖華

## ◇目次

### 1. プランのポイントについて

#### 1-1 SDGsに焦点

- ・身近な地域の再発見
- ・海洋ゴミの増加を身近な問題として考える
- ・経済活動が停滞している現状の打破

#### 1-2 今までにない修学旅行 – 地域の人を巻き込む –

- ・初体験・着地型観光の受け皿作り
- ・酒田の魅力たっぷり・酒田「密」着

### 2. 酒田・庄内の現状や課題

観光施設の活用が少ないこと・30代以下の来訪者が少ないこと  
酒田の着地型観光が少ない・連携が不足していること・・・など

### 3. プランのターゲットについて（山形県内の中学2、3年生）

### 4. 新たな修学旅行の提案 「2泊3日酒田まんきツアー」

1日目 「君も豪商になろう！」

2日目 「庄内のうまみを体験してみませんか」

3日目 「僕らは未来を見ている」

### 5. まとめ（この観光プランの意義）

# 1. プランのポイントについて

## 1-1 SDGsに焦点

- ① **身近な地域の再発見**…小中高、大学が休校→感染拡大防止の為登校を中止したり、学校行事の自粛や中止が相次ぐ。オンライン授業などに切り替わる。  
→修学旅行を身近な地域で実施する。

「4 質の高い教育をみんなに」



- ② **海洋ごみの増加を身近な問題として考える**…プラスチック製品の普及によって海洋ごみが増加→分別の文化があるのにも関わらずポイ捨てをする人がいる。しかも日本は海に囲まれている。

「12 つくる責任 使う責任」

「14 海の豊かさを守ろう」



- ③ **経済活動が停滞している現状の打破**…感染拡大防止の為人々が外出・移動を控えたことによって飲食業界や観光業界に大きな打撃を与える  
→地域の人を「巻き込む」ことによって働く場を提供

「8 働きがいも経済成長も」



# 1. プランのポイントについて

1 - 1 今までにない修学旅行 地域の人を巻き込む

## 1. 初体験

「これなら人が呼べる酒田のウリ」を確立

中学生が今まで「体験したことがない」・「見たことがない」「行った事がない」を盛り込んだ初体験が思い出に残り、再び訪れるきっかけ作りを目指す

## 2. 着地型観光の受け皿作り

→着地型観光とは、旅行業者が主体ではなく、地元の人が地域の魅力を発信し、プロデュースする。  
「地域が主役のツーリズム」

現状) 酒田市の観光において着地型観光の受け入れ体制が整っておらず、酒田の魅力的な観光地があまり発信されていない。

## 3. 酒田の魅力たっぷり

「人」・「文化」・「自然」を盛り込んだ旅行プラン

→酒田の個性を光らせ、それぞれの魅力を引き出したプラン

「新しさ」「つながり」を意識し、再び訪れたくなるような魅力を付加

## 4. 酒田「密」着

コロナ禍では「密」を避けようと呼びかけられているが、旅行プランに関しては、酒田だけに焦点をあて、酒田「密」着を意識した。

また、酒田だけに密着することによって、より酒田の魅力に気付いてもらう。

## 2. 酒田・庄内地域の現状や課題

観光施設の活用が少ない・30代以下の来訪者が少ない  
酒田の着地型観光が少ない・連携が不足していること・・・など

### ■酒田市中長期観光戦略図1から

	度数	%
男性10歳代	2	0.8
男性20歳代	29	10.9
男性30歳代	40	15.1
男性40歳代	45	17.0
男性50歳代	68	25.7
男性60歳代	57	21.5
男性70歳代	21	7.9
男性80歳代以上	3	1.1
女性10歳代	13	5.1
女性20歳代	32	12.5
女性30歳代	34	13.3
女性40歳代	41	16.0
女性50歳代	56	21.9
女性60歳代	64	25.0
女性70歳代	11	4.3
女性80歳代以上	5	2.0

※図から

- ①若年層ほど酒田市内の観光スポットを訪れない割合が高い
- ②若年層ほど酒田市に対する印象が薄い
- ③30歳代までの満足度が低い
- ④10代の男性が少ない
- ⑤全体的に見て若者が少ないなど...の点が挙げられる。

## 連携不足

→学生と市役所の連携不足

→市役所内での連携不足

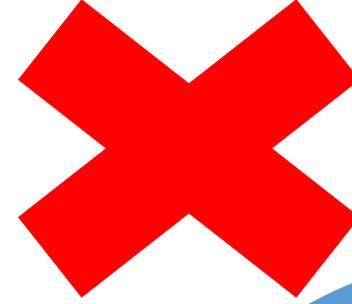
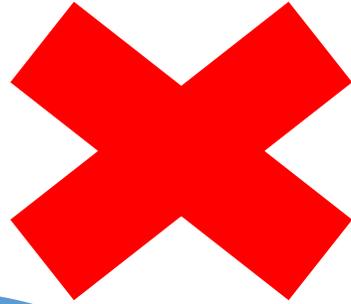
### 農政課

グリーンツーリズム

在来野菜・農産物のブランド化

酒田ファームステイ受入・酒田農

林水産まつり



## 外部との連携不足！

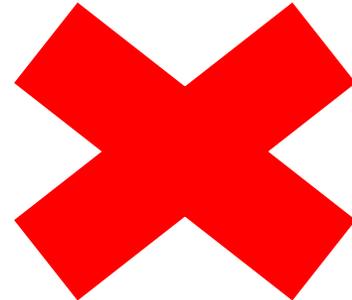
### 都市開発課

ミライニ

(学生主体の図書館運営

ガイド協会と学生の連携)

駅前開発



### 交流観光課

おもてなし

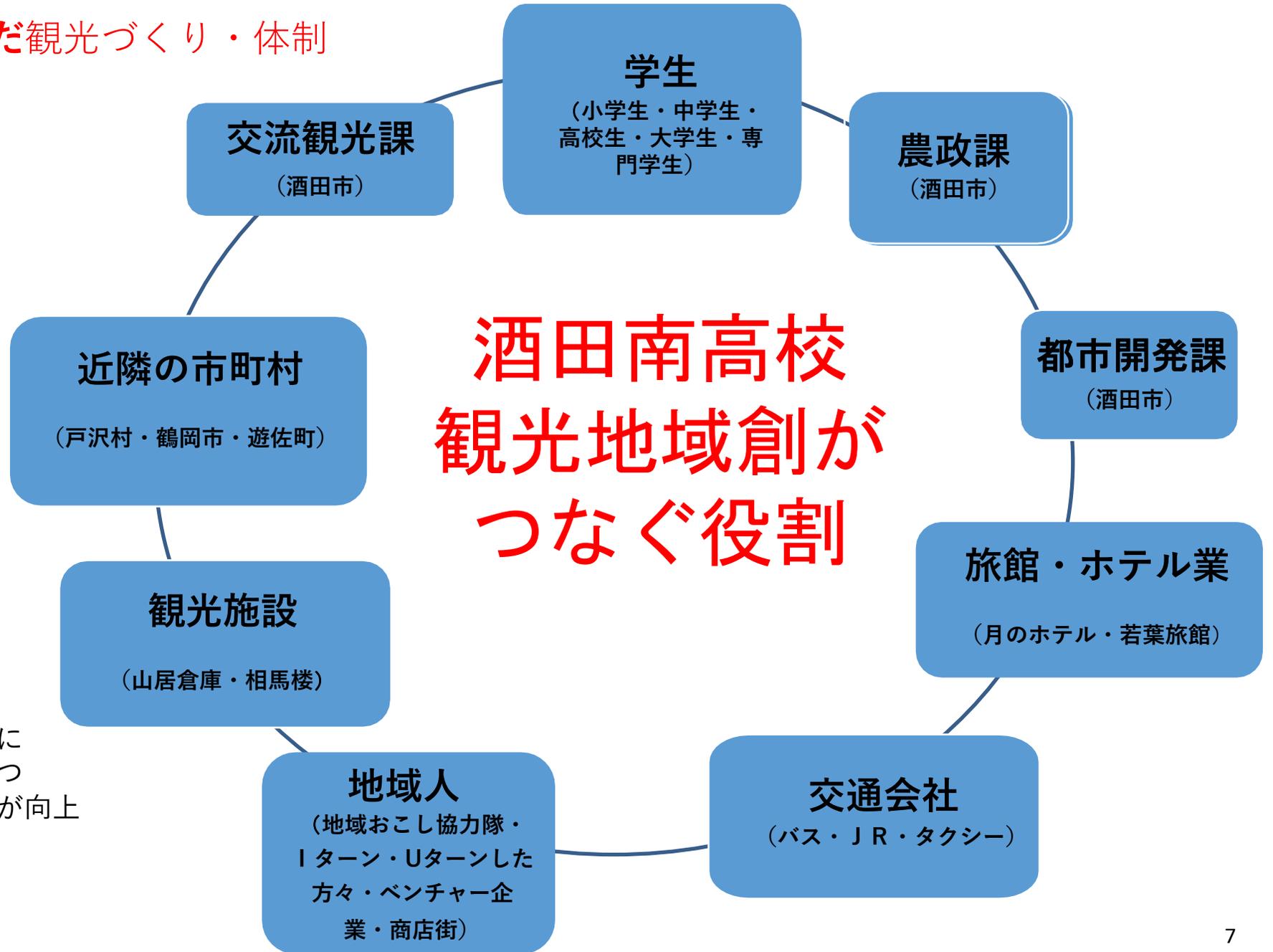
(姉妹都市サンクトペテルブルク市・デラウェア市)

国際交流

インバウンド (クルーズ船受入)

移住交流会

□地域の人を巻き込んだ観光づくり・体制



- ・市民一人一人が住んでいる町に対して「誇り」「愛着」を持つ
- より積極的に町に関わる意識が向上
- ・宿泊や飲食等の環境を整備
- 観光客の利便性が上がる
- 観光客が安定する

### 3. プランのターゲット（山形県の中学2・3年生）

なぜ山形県内の中学2、3年生をターゲットにしたのか？

- ・他のチームは他のプランを考えていたが、私たちはコロナの影響でクルーズ船での修学旅行が中止になった。  
→「悔しい」・「悲しい」複雑な気持ち。 だからこそ、悔しい思いをこの観光プランにかけた。

**「コロナ中でも、楽しんでもらえるそんな新しい修学旅行を考えた」**

- ・さらに、研修旅行は学校行事の中で「大きな役割」がある。  
学習指導要領（旅行・集団宿泊的行事について）によると  
「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験が積むことができるようにすること。」と記載。
- ・「県内を修学旅行にするのはあまり意味がない」という意見があるかもしれないが、  
まだ見たことがない・知らない場所や機会がたくさん存在している。  
→私たち観光地域創生専攻はフィールドワークや実践体験活動を通して、様々な学びを得ることができた。  
→県内（庄内地域）を知ることによって中学生が自ら生まれ育った県や町の愛着を持ってほしい
- ・コロナ禍で中学生に「最高の学び」の場を提供するために…

**「今できる最高の機会」を私たちは用意したい！**

## 4. 新たな修学旅行の提案「2泊3日 酒田まんきツアー」

### □ 1日目 「君も豪商になろう！」

10:00

「酒田駅」

※歩きながら高校生が酒田の歴史・文化を紹介しながら案内

「4 質の高い教育をみんなに」

「8 働きがいも経済成長も」



10:15

「本間美術館」

「鶴舞園」・「清遠閣」・「本間様」にまつわる話を紹介

本間様にまつわる話をしながら美術館・光道が作った庭園・別邸の見学

11:30

### 「高校生がガイドする意義とは？」

- ・中学生と歳が近いので中学生に心を開いてもらいやすい
- ・若者目線で酒田の良さを伝えることができる
- ・おもてなし人材の育成
- ・酒田市民一人一人がおもてなしの心を持ち、地域に対する「誇り」をもってほしい
- ・地域の良さを積極的に伝えるガイドを増やしたい

### 「本間美術館」

- ・冬期間に港で働く人々の失業対策事業として庭の整備がされたことを伝えたい。
- ・ヘレンケラーが記念植樹をした木があることを知ってもらいたい。
- ・昭和天皇陛下が宿泊された清遠閣のすばらしさを中学生に感じてほしい
- ・「本間家の精神と北前船の歴史」を学ぶ機会へ

1 1 : 3 5 本間家旧本邸  
※旧本邸ではガイドさんが紹介  
酒田は北前船や最上川舟運による交易で栄えた商都  
今も豪商の面影を残す歴史的資源を知る

1 2 : 2 0 着物着付け体験 小いけ  
→男子も女子もあまり着たことがないのでインパクト大！

1 3 : 0 0  
1 3 : 0 5 中町通りを浴衣着ながら食べ歩き  
→東京の竹下通りや浅草で食べ歩きするイメージ  
「ミールクーポン」を発行し中町商店街で利用できるようにする  
小いけに戻り浴衣から制服に着替える。

## 「本間美術館」

特に「お庭」

- ・酒田港から米を積んで出港した北前船が、帰路、空荷では船が安定しないため、全国各地の石が配置  
→岡山県の万成石・愛媛県の青石・新潟の石
- ・「北前文化」のつながりを感じてほしい。
- ・本間美術館と同様に  
「本間家の精神と北前船の歴史」を学ぶ機会へ

### 「4 質の高い教育をみんなに」



### 「着付け体験について」

- ・主に女子中学生がターゲット
- ・女子は「かわいいもの」「おしゃれ」をしたいというイメージがあるから。
- ・男子は普段着ることがないため「初体験」のきっかけを作りたい。

### 「中町商店街の魅力化作り」

- ・若者（中・高校生）が歩くことによって中町商店街を活気づける

※詳細①ミールクーポンについて  
(11ページ)

### 「8 働きがいも経済成長も」



## 詳細①ミールクーポンについて

- ・中町商店街で利用できるように中町商店街の人に協力依頼
- ・価格は「**1000円分**」のミールクーポン
- ・ミールクーポンの絵柄について

中町中和会商店街振興組合マスコットキャラクター「ニャーワールド・中和ルズネッガー」を使用  
→「ちゅわちゃん」の宣伝活動にもなる。

**\*\*1000円\*\***



中町商店街で使えるニャーワールド！

※あくまでもイメージ

「8 働きがいも経済成長も」



15:30 「相馬棲」

- 演舞鑑賞・竹下夢二美術館鑑賞・お座敷遊び  
→京都からもたらされた雅な生活文化を知る  
→京の文化は長い時代の流れの中で育まれた、それと同様に酒田の伝統文化も成長・継承されてきたことを知ってほしい

17:00

17:15 「屋形船みづきクルーズ」

- 海も川も両方楽しむことができる。  
→昼とは違った夜の酒田を体験 船の中で夕食（弁当）

### 「酒田の夜の魅力化作り」

19:00

19:30 「月のホテル」到着

- ※一日目の月のホテルでは次の日に備えてゆっくりとした時間を過ごしてもらいたいと考え月のホテル内での企画を入れていない。

## 「4 質の高い教育をみんなに」



※詳細②相馬棲について  
(13ページ)

### 「弁当について」

- 酒田南高校調理科が作った地元の魅力が詰まった弁当を提供する

### 「なぜ酒田南高校調理科に依頼か」

- 休校が続き、酒田南高校調理科の活動の場がないため、生徒のより深い学びの場を提供するため。  
→勉強した証・形として残るため  
→さらには、修学旅行で訪れた中学生の進路選択の参考にしてもらいたい

※詳細③弁当について  
(14ページ)

※詳細④月のホテルについて  
(15ページ)

## 詳細②「相馬棲について」

### 1. コロナ禍で観光客が減少

- 花柳界の伝統を守るために頑張っている人達の手助けをしたい
- ・舞娘さんと敷居が高そうなイメージがあるが、リーズナブルに舞娘さんの演舞を体験
- ・コロナ禍で失われた「非日常空間」を味わってほしい
- ・京都からさまざまな物資だけでなく、京文化も運ばれたことを知ってほしい
- 京文化の深いつながりを少しでも理解してほしい

### 2. 演舞について

- ・「庄内おばこ」・「酒田甚句」などの三曲を演舞

庄内弁×酒田舞娘

- 庄内おばこの「おばこ」は庄内地方の方言で若い年頃の娘のことを意味する
- ただ鑑賞するだけでなく、聞きながら鑑賞し、庄内弁についての学びをさらに深めてほしい
- 「コバエテ コバエテ」と舞娘さんたちの言葉に注目してほしい

### 3. お座敷遊び

- ・お座敷遊びのイメージは、宴会などで遊ぶイメージ
- ・北前船の歴史や文化を残す建物や資源は今まで観光資源として活用してきたが今までの活用方法ではなく、
- 「**新たな視点**」を持って戦略的に活用したい
- ・中学生が初体験・貴重な体験をする
- 異文化を身近にとらえてほしい！

## 詳細③弁当について

コンセプト：酒田南観光科×酒田南調理科×在来野菜農家

### 1. 「在来野菜」・「地産地消」にこだわる

- ・ **つや姫** → つや姫はさめても「おいしい」・「うまみ」のあるのが特徴
- ・ **在来野菜** → 「平田ネギ」・「庄内柿」・「升田かぶ」・「からとり」などを使用したい。
- ・ **魚** → 秋鮭を使用  
また、ただ鮭を使用するだけでなインパクトがないと考えた。  
庄内独自の「あんかけ」文化を知ってもらうため、  
→ 「秋鮭のあんかけ和え」を検討したい。
- ・ **豆** → だだちゃ豆を使用  
「畑の肉」でたんぱく質が摂れる  
「甘味」・「うまみ」・「香り」が特徴



※イメージ

### 2. 中学生は成長期で食事面でも重要視

「**栄養バランスを第一**」に考えた庄内の魅力が詰まった弁当」を検討している。

## 詳細④「月のホテルについて」

1. ビジネスホテルのイメージは、簡素なイメージがあるが、「月のホテル」は他とは違ったホテルなため
2. 月のホテルは「地域密着型のコミュニティホテル」 ただのビジネスホテルではない！
3. ホテルの第一印象を決めるロビー・フロントにおもてなしとたくさんのこだわりや工夫があることに注目
4. 極上のくつろぎ空間を提供  
すべての部屋の窓が広く、どの部屋からも素晴らしい景色を楽しむことができる。  
さらに浴室の壁がガラス張りできており、お風呂に入りながらも酒田の街並みを眺めることができ、開放感に溢れている
5. 丁寧なおもてなし  
「おもてなし」は相手に対する最上級の心遣いの言葉  
ホテル内で使用する染物の製作体験など、スタッフが実際に体験し、より良いものを生み出している  
→月のホテル流のおもてなし  
ここまでしてお客様にサービスを提供するホテルは酒田で「ここ」だけ
6. **地元とのつながり**を強く意識したレストラン「**ALL DAY DINING**」

酒田市×庄内地域×山形県全体の企業×月のホテル

- 例)
- ・酒田のオズ・ベーカリーさんのこだわりの人気パンを限定で食べることができる
  - ・田村牛乳さんのモッツアレラチーズ
  - ・つけ麺癒庵とコラボし朝ラー体験
  - ・米をおいしくたべてほしいという思いから「ひとめぼれ」・「つや姫」・「雪若丸」を提供
  - ・芋煮汁は庄内（庄内風味）と山形バージョン（内陸風醤油味）の2種類準備の気遣い
  - ・日本海の新鮮なイカ刺しを朝から体験
  - ・醤油の実を使った満月卵の醤油漬け・塩納豆など…半分以上は「地産地消」である！

最大のポイントは…

**「食を通して一気に酒田にふれることができる」**

## □ 2日目 「庄内のうまみを体験してみませんか」

7:00 「酒田港」競り見学



8:00 「海鮮市場」で朝食  
新鮮な魚を売り出されているところを見てさらに庄内の魚の  
おいしさを伝えたい。



8:30 「玉すだれ」見学

9:30

- ・1200年前に弘法大師が命名したと伝えらる直爆の滝について知ってほしい
- ・「日本一の滝王国」の県として中学生に少しでも自分の生まれ育った山形県に誇りをもってほしい

### 「酒田港」

- ・新鮮な魚を一番間近に見ることができるのは酒田で「ここ」だけ！
- ・内陸地方在住の中学生は海がない為、このような競りの場を見たことがないから。
- ・迫力のある競りの場を見てほしい。

「14 海の豊かさを守ろう」

「4 質の高い教育をみんなに」



### 「海鮮市場」

- ・酒田にはたくさんの寿司屋があるが一番新鮮な状態で食べることができる場所
- ・リーズナブルに満足できるメニューが豊富
- ・特に「舟盛膳」1000円を食べてほしい
- ・庄内の新鮮な魚を「一度」に味わえる。

### 「玉簾の滝」

- ・山形県の観光案内で上位に入る観光名所な為  
→山形県民全員が行った事のある場所にしたい
- ・スムーズに移動できるためwithコロナ時代に適しているのでは？
- ・旅の疲れを癒してくれる
- ・不動の滝と呼ばれる「開運出世の滝」としてこれから受験を迎えるにあたって訪れてほしい

10:00 大沢地区「大文字」に登山  
→八幡地域・大沢地区の地域おこし協力隊を紹介したい  
地域おこし協力隊 阿部彩人さん  
→庄内もっけだレディオの運営  
「大」文字マルシェ  
大沢「大」文字音頭ミュージック作成などの活動をしている。  
→地域の人と触れ合いながら、「**公益の精神**」を学んでもらいたい

12:00 出前ラーメン「花鳥風月」 大沢コミセンにて

13:00 紙芝居師「米田左之助」による楽しく庄内弁を学ぼう講座  
地域おこし協力隊×紙芝居師  
→地域の人同士の連携  
→「庄内弁をおもしろく学ぼう！」YouTube企画で  
地域おこし協力隊阿部彩人さんとコラボしていたためここに設定

## 「大沢地区」

- ・高齢化が進む地域と言われているが、阿部彩人さんを中心とした地域住民一体となった街作りが行われていることを知ってほしい
- ・なぜか思わず「わぐわぐ」してしまう地域
- ・大沢地区に入る前のスローガンが他の地域とは違う

「実際のスローガン」

今、あなたは何から始めますか！！  
まず ようし  
あづばろぜ・しゃべろぜ やろぜ

## 「紙芝居師 米田左之助」

- ・赤ちゃんから、101歳のお婆ちゃんまで紙芝居を楽しませることができるため
- ・紙芝居で庄内を盛り上げようとしている人を応援したい
- ・コロナ禍で失われた活動の場を提供したい
- ・紙芝居を通して庄内弁の面白さや奥深さを一番伝えられるため

「8 働きがいも経済成長も」

「4 質の高い教育をみんなに」



14:40 オランダせんべい工場見学&せんべい焼き体験  
→お米のおいしさを楽しみながら更に感じてもらいたい  
「庄内米」を体験できるプログラム

↓  
15:30

↓  
17:00 月のホテル到着

18:30 月のホテル内にて夕食

19:00 月のホテル内で「庄内のことについて知ろう！inナイトタイム」  
夕食を食べた後なので眠くなることが予想  
パジャマで参加する（パジャマパーティー）

↓  
「お土産コンシェルジュから酒田のおすすめお土産を聞こう！」  
実際におすすめするだけでなく、

「試食」もしながら中学生でも飽きないような企画に  
「庄内弁コンシェルジュから庄内弁について学ぼう！」

20:00

20:30 2日目終了

## 「酒田米菓」

- ・自分で煎餅が焼ける体験は山形県でここだけ
- ・自分で焼いた煎餅はおいしく味わうことができるのが特徴
- ・添加物を使っていないため安心・安全
- ・「庄内米」は国内トップクラスの等級を誇る米のおいしさを「煎餅」の視点から見てほしい

「4 質の高い教育をみんなに」



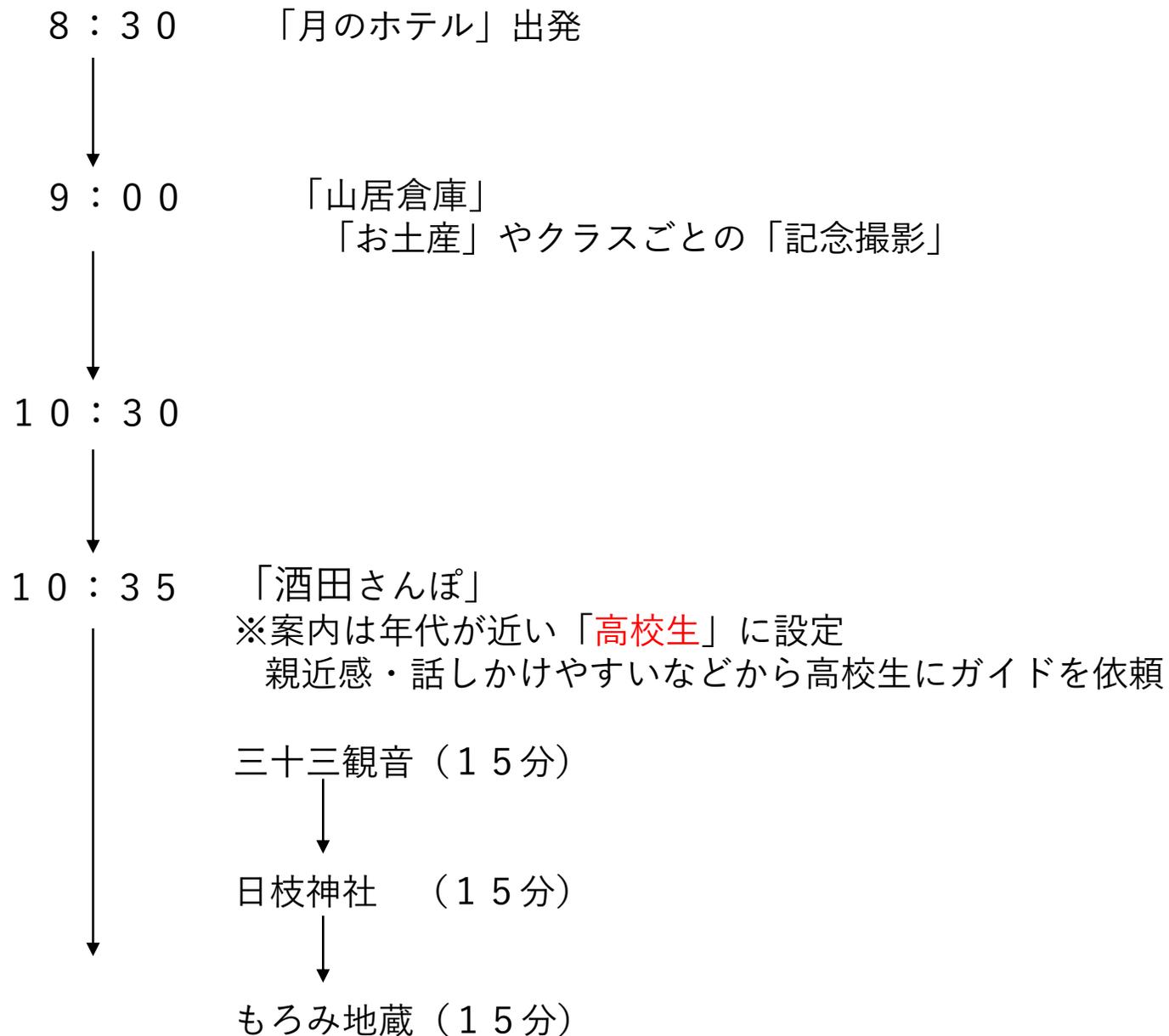
## 「パジャマパーティー」

- ・心身ともにリラックスできる
- リラックスし、本音トークにも発展しやすいため
- ・友達同士の仲が深まる
  - ・パーティーを楽しんだ後、眠たくなったらそのまま布団にはいることができるため

## 「コンシェルジュ」

- ・月のホテルの究極のサービスを体験してほしい
- ・インターネットのありきたりなものではなく、細やかで、その人にあった情報を伝えることができるため。

## □ 3日目 「僕らは未来を見ている」



### 「山居倉庫」

- ・山居倉庫を日差しや暴風から守るために植林されたケヤキが今も残っていることを知ってほしい
- ・「酒田のシンボル」として多くの観光客が訪れているため
- ・山居倉庫内で庄内の魅力が詰まった土産品が豊富  
→お気に入りの庄内のお土産を購入してほしい！
- ・クラスで記念写真を撮るにはベストスポット

### 「街歩き観光」の推進

- ・湊町酒田の歴史・文化・生活をコンパクトに体験できる街歩きを推進したい
- ・歩いてみて酒田の街の魅力を発信したい
- ・市内の回遊性を今よりも高めたい
- ・従来の旅行＝移動があまり楽しくない  
提案の旅行＝移動自体が楽しめる  
ような仕組み作りを提案

※詳細⑤酒田さんぽについて  
(20ページ)

「8 働きがいも経済成長も」

「4 質の高い教育をみんなに」



# 詳細⑤「酒田さんぽ」

## 1. 「天正寺 三十三観音」

- ・西廻り航路の安全祈願・供養のために作られた
- ・船の形をした台座に乗る観音様を一番紹介したい  
→18本の手で船衆をい助けるといわれている
- ・千石船が往来した酒田湊の繫盛振りがうかがえる石像・船形観音に注目してもらいたい
- ・石像だけでなく、本堂の彫刻の「鶏」や「獅子」が彫られているのも紹介したい

## 2. 「もろみ地蔵」

- ・地蔵堂にいるもろみを口の周りにつけたお地蔵様を紹介したい
- ・毎日お地蔵様にもろみをお供えするとその店は繫盛したエピソードがある
- ・酒田の町にある身近なエピソードを知ってほしい
- ・中学生が聞いても面白いエピソード

## 3. 「日枝神社」

- ・「上日枝神社」と「下日枝神社」がある
  - ・上日枝神社と下日枝神社が向かい合う位置関係にある  
そのことによって「酒田の町の安全」を守っている
  - ・毎年5月20日に行われる「酒田まつり」を見守っている
- 酒田まつりは、1609年（慶長14年）から途絶えることなく続いている  
それは、酒田まつりの主神である「産土神」が見守っているからだといわれていることを紹介したい

1 1 : 0 0

「芋煮作り・大根めし作り」

酒田調理師専門学校が主催

酒田調理師専門学校×酒田南高校

1 3 : 3 0

1 4 : 0 0

SDG s について深く考えよう！

宮海海岸でゴミ拾い（ボランティア）（1時間程度）

→ただゴミを拾うだけではなく、「班対抗」で競い合い

中学生が楽しめる企画を実施

→貝殻も拾う→学校に帰ってきて美術の時間に思い出の品として作る。

1 5 : 0 0

「未成年の主張」（1時間程度）

→今後の夢を叫ぶ

・教師も含めて全員参加 全員でやる＝面白い・思い出に残る

・夢を言葉に出すと実現する！？

・好きな人に告白も有

1 6 : 3 0

全日程終了・解散

「芋煮汁・大根めし」について

- ・芋煮は内陸と庄内では味が違うため違いを体験
- ・庄内の芋煮は外部の人から「豚汁」と言われがちだが豚汁ではないことを認識してもらいたい
- ・大根めしはあえて質素なご飯にすることで「お米のおいしさ」・「ありがたみ」を体験  
→今までにない「食育活動」

「4 質の高い教育をみんなに」



「1 2 つくる責任 使う責任」

「1 4 海の豊かさを守ろう」



※詳細⑥ゴミ拾いについて

(22ページ)

## 詳細⑥ゴミ拾いについて

1. 酒田の三十六人衆の一人であった本間家は、砂防植林事業で有名な三代目・光丘だけでなく、代々様々な「社会貢献活動・事業」を行っている

例) 財政再建の援助

行政への資金援助

自ら公共施設の建設・運営など…

「献金」「慈善事業」「救済事業」「育英事業」などを行ってきた歴史がある

これは、

「世のため人のために尽くす」公益活動と言える

2. 本間家は、庄内地域だけではなく、近隣の東北諸地域の地域再建、地域振興のリーダーとして、庄内外の物資の交流、金融業、土地管理などのビジネスで稼いだ利益を様々な公共事業に拠出し経営→「交益の精神」によって商売で得た利益を地域へ還元し続けた

ゴミ拾いをする意味はあるのか？ 地元の人がやれば良いという意見が出ると思う

→SDGsだけを学ぶのではない

→SDGs × 交易でつながりを意識

※本間家の「公益の精神」についても修学旅行で訪れる中学生にも感じてもらいたい

## ◇旅行代金

2泊3日の全日程で「約6万円」で設定

1日目：約2万円

2日目：約2万円

3日目：約2万円

## ◇受入人数

人数：30～40人を予定

※「密」を避けるため、日程を調整する  
2班に分けるなど配慮する

## ◇コロナ対策として

ガイド：高校生ガイドは「マスク」・「フェイスシールド」で感染対策を徹底  
検温・消毒も徹底的に行う

バス：「松山観光バス」に依頼

→「自動除菌剤噴射器」を搭載しているため、「安心」・「安全」・「快適」に旅行することができる。

「安全」：安全性評価認定を受けた事業者として「セーフティバスマーク」に認定されている  
研修旅行に行く中学生に大きな安心を提供することができる

「安全」：バスの車内に「次亜塩素酸水」を噴霧することでおいをもとから消臭するとともに空間も  
除菌しウイルスからお客様を守る  
さらに拭き取るだけでは不十分なノロウイルスに関しても空間除菌をし「二次感染」を防ぐ

「快適」：バスなどの空間の快適性は、温度湿度のほかに「臭い」が重要なポイントとされている  
においが強い場合においが気になり楽しめなくなったり、気分も悪くなりやすく「快適性」を  
損なう

松山観光バスは「空間除菌」を採用し消臭・殺菌をし快適な旅を提供している

## 5. 観光プランの意義

- ・地域の「つながり」ができる
- ・コロナ禍で減った人との「つながり」
- ・中学生の進路選択の手助け
- ・中学生からもSDGsについて重く考えてもらえる機会へ
- ・いろんなことを知る・体験  
→自分が知って良かったこと・成長したこと

例) 観光科の授業で地域おこし協力隊の阿部彩人さんとの大文字でLEDライト撤去活動を通しての学び  
最初は、八幡地域・大沢地区について全く知らなかった。しかし、実際にその地域に住んでいる人のお話をお聞きしたり、交流したことによって大沢地区の良さを知ることができた  
さらに、大沢地区は高齢化が進んでいるのにも関わらず、地域住民一体となった「公益の精神」を感じることができた。  
大沢地区に行ったことによって自分が住んでいる地域について、知ることができたし、もっと自分が住んでいる地域についてさらに知りたいと思うように。  
知っているのと知らないでは違う。それを中学生にも感じてもらいたい！

- ・いろんな人を「巻き込む」  
今まで) 旅行会社 × 学校  
新しい) 高校生 × 中学生 × 地域の人 × ○○○…

**地域の人を巻き込むことによって地域経済が発展し始める**



**地方の観光の価値が次第に高まるのではないか？**